2007年度 小委員会活動成果報告

(2008年2月16日作成)

小委員会名	PC 耐震設計小委員会		主 査 名: 丸田 誠 就任年月: 2004 年 4 月
所属本委員会	構造委員会		委員長名:和田 章
(所属運営委員会)	プレストレストコン	クリート構造運営委員会	主 査 名:西山峰広
設 置 期 間	2004年4月 ~ 2008年3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・新設計法(性能評価)の耐震設計項目の詳細検討を行う。・設計指針目次案を固めていく。・委員会としての耐震提案モデル設定について議論を深めていく。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無:無 主査: 丸田誠(鹿島建設)幹事:福井剛(ピーエス三菱)加藤誠一(オリエンタル建設) 是永健好(大成建設)加藤博人(建研)河野進(京大)小室努(大成建設)島崎和司 (神奈川大)中塚信(阪大)西山峰広(京大)深井悟(日建設計)眞田靖士(豊橋技 科大)内山執樹(オリエンタル建設)二村有則(鹿島建設)		
設置 WG (WG 名:目的)			
2007 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無:無 委員会 HP アドレス:	

項目	自己評価	
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セミナ ー・研究会・見学会等)		
大会研究集会	1 . PD:PC 構造研究の現状、新 PC 規準へ向けての活動およびプレストレス技術を有効活用した建物例 参加者数 150 名『構造部門 (PC 構造) パネルディスカッション資料:同上』 (PC 構造運営委員会全小委員会で共催)	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1.性能型耐震設計法として各項目についての議論を深めた。 2.設計指針目次案を策定し分担を決定し執筆を開始した。 3.耐震解析モデル(動解、漸増)について検討を行い、一部学会 PD で報告した。	
委員会活動の問題点 ・課題	1.関西の委員が多く、旅費が十分とはいえない。	